

「女性の活躍による経済社会の活性化」に関する事例収集について

1 目的

「女性の活躍による経済社会の活性化（中間報告）」において、「今後の検討における重点課題」とされた点を踏まえ、女性の活躍が経済社会の活性化に不可欠であることの共通理解を深めるための事例を収集・分析する。

2 事例収集に当たっての着眼点（案）

女性個人に着目し、経済的に自立している事例を収集。

以下の要素をカバーできるような事例を選定する。

要素 1 (活躍分野)	環境・エネルギー等に関連する産業
	介護・ライフケア等のサービス産業
	社会的企業／ソーシャルビジネス
	コミュニティビジネス
	非営利組織（NPO等）
	農林水産業
要素 2 (（新たな）働き方)	起業
	継続就業
	再就職
	勤務形態（フレキシブルワーキング、短時間勤務、在宅勤務）
	非正規雇用（パートタイマー、アルバイト、契約社員、派遣社員）
要素 3 (阻害・促進要因)	資金調達
	ノウハウの伝授
	人的ネットワーク
	家事、育児、介護などの分担
	固定的性別役割分担意識
	ロールモデル
	教育・能力開発
	複線的なキャリア構築
	復興への主体的参画

3 事例収集の方法

過去の顕彰、書籍、ウェブサイト等から事例を収集し、その中から代表的な事例を抽出し、ヒアリングによる実地調査を実施。

4 主な検討内容

- （１）女性の能力発揮を阻むものとしてどのような課題があるか。
- （２）能力を発揮し、経済社会に積極的に参加することを促すものは何か。
- （３）どのような局面で、どのような工夫を行い、どのような支援を受けた（必要だった）か。
- （４）成功事例をより効果的・効率的に全国に展開するにはどのようにしたらよいか。

【参考】

女性の活躍による経済社会の活性化（中間報告）＜抜粋＞

- より実践的・効果的な取組に関する事例を収集しながら、施策の在り方について検討を行っていく。
 - 女性の活躍が経済社会活性化に与える好影響について、具体的な事例や説得的なデータで提示
 - 被災地の復興に向けた女性の経済的な面での活躍の重要性を提示
 - 男女共同参画を推進する自治体等へ具体的なノウハウを提示
 - 女性の就労促進のため、幅広い年齢層を対象とした意識啓発と具体的な行動の促進を図る取組の検討